

身近なところから循環型社会への取り組みが進んでいます

市内の消費者から出された生ごみをたい肥化し、
それで作った野菜に大喜び（食の環研究会）

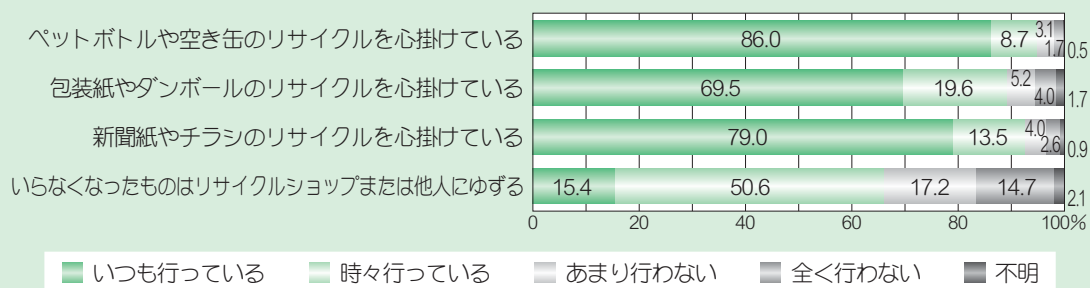
循環型社会に関する市民アンケートの結果概要



このアンケートは、設問の作成および結果の集計・分析を国際教養大学に依頼して実施しました。18年2月までに詳しい調査書をまとめる予定です。今回は、その一部を広報で紹介いたします。

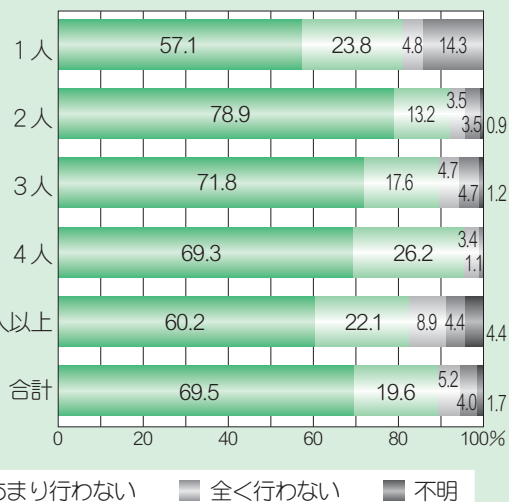
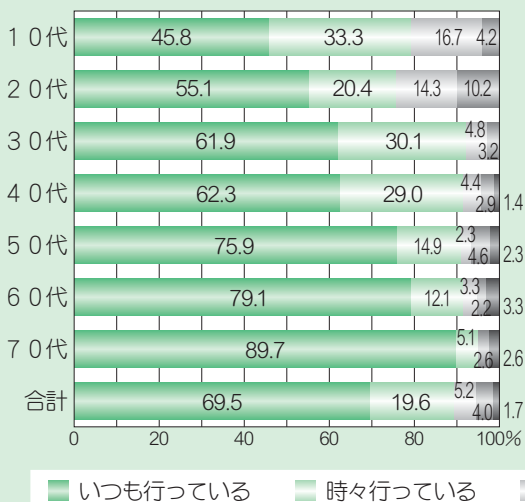
調査対象：満18歳以上の男女1,000人
抽出方法：住民基本台帳から年代別無作為抽出
調査方法：郵送による回答方式
調査期間：8月24日～9月7日
回収率：42.3%（423人）
回答者の概要：男200人 女222人 不明1人

【図-1】リサイクルに関する日常の行動について



日常生活において、リサイクルへの心掛けは、全体的に浸透していると考えられます。

【図-2】年齢別とリサイクル（包装紙やダンボール） 【図-3】家族構成とリサイクル（包装紙やダンボール）



10代のリサイクルへの心掛けが低く、また家族構成別では、一人暮らしのリサイクルへの心掛けが低い結果となっています。

あなたの日常生活について